

# 一大気汚染

資料1 福島市内の測定局における測定結果

## 1. 大気汚染常時監視調査結果（総括表）

測定項目	項目	測定局				
		南町局	森合局	古川局	松浪町局	
二酸化硫黄	年平均値	(ppm)	0.000	0.000	—	—
	1時間値が0.1ppmを超えた時間数	(時間)	0	0	—	—
	日平均値が0.04ppmを超えた日数	(日)	0	0	—	—
一酸化炭素	年平均値	(ppm)	—	—	—	0.1
	8時間値が20ppmを超えた回数	(回)	—	—	—	0
	日平均値が10ppmを超えた日数	(日)	—	—	—	0
浮遊粒子状物質	年平均値	(mg/m <sup>3</sup> )	0.010	0.009	0.011	0.011
	1時間値が0.20mg/m <sup>3</sup> を超えた時間数	(時間)	0	0	1 <sup>※1</sup>	0
	日平均値が0.10mg/m <sup>3</sup> を超えた日数	(日)	0	0	0	1 <sup>※2</sup>
光化学オキシダント	昼間の日最高1時間値の月間平均値	(ppm)	0.043	0.047	0.045	—
	昼間の1時間値が0.06ppmを超えた時間数	(時間)	124	48	215	—
	昼間の1時間値の最高値	(ppm)	0.076	0.074	0.080	—
二酸化窒素	年平均値	(ppm)	0.005	0.005	0.003	0.006
	日平均値が0.06ppmを超えた日数	(日)	0	0	0	0
微小粒子状物質	年平均値	(μg/m <sup>3</sup> )	—	6.9	8.3	—
	日平均値が35μg/m <sup>3</sup> を超えた日数	(日)	—	1 <sup>※2</sup>	2 <sup>※2※3</sup>	—

※1 ふくしま花火大会の影響（7月27日）

※2 黄砂の影響（4月18日）

※3 強風の影響（3月26日）

### －環境基準の評価方法について－

二酸化硫黄、一酸化炭素及び浮遊粒子状物質に係る環境基準の達成状況の評価方法として、短期的評価及び長期的評価があります。

短期的評価は、大気汚染の状態を環境基準に照らして、測定を行った時間又は日により評価する方法です。また、長期的評価は、主として1年を単位とする平均的な評価で、地域における汚染の実態、推移を把握するものです。

一般に環境基準の達成、未達成をいう場合は長期的評価を指しています。地域の汚染の評価、規制を実施するための地域の指定等も長期的評価に基づいて行われます。

## 2. 有害大気汚染物質等の測定結果

測定項目	単位	測定結果 (平均値)	環境基準、指針値等		
		一般環境 (桜木町)	(※1は指針値、※2は令和5年度常時監視全国平均値)		
ベンゼン	μg/m³	0.46	1年平均値が	3 μg/m³	以下であること。
トリクロロエチレン	//	0.044	//	130 μg/m³	//
テトラクロロエチレン	//	0.031	//	200 μg/m³	//
ジクロロメタン	//	0.68	//	150 μg/m³	//
アクリルニトリル	//	0.0004	1年平均値が	2 μg/m³	以下であること。(※1)
アセトアルデヒド	//	1.7	//	120 μg/m³	// (※1)
塩化ビニルモノマー	//	0.0089	//	10 μg/m³	// (※1)
塩化メチル	//	1.3	//	94 μg/m³	// (※1)
クロロホルム	//	0.17	//	18 μg/m³	// (※1)
1,2-ジクロロエタン	//	0.15	//	1.6 μg/m³	// (※1)
水銀及びその化合物	ng/m³	1.6	//	40 ng/m³	// (※1)
ニッケル化合物	//	1.0	//	25 ng/m³	// (※1)
ヒ素及びその化合物	//	0.63	//	6 ng/m³	// (※1)
1,3-ブタジエン	μg/m³	0.031	//	2.5 μg/m³	// (※1)
マグン及びその化合物	ng/m³	8.6	//	140 μg/m³	// (※1)
鉛及びその化合物	//	1.1	一般環境	3.6 ng/m³	(※2)
六価クロム化合物	//	0.13	—		(※2)
酸化工チレン	μg/m³	0.041	一般環境	0.067 μg/m³	(※2)
トルエン	//	1.5	一般環境	4.6 μg/m³	(※2)
ベニウム及びその化合物	ng/m³	0.0041	一般環境	0.019 ng/m³	(※2)
ベンゾ[a]ピレン	//	0.049	一般環境	0.13 ng/m³	(※2)
ホルムアルデヒド	μg/m³	1.8	一般環境	2.4 μg/m³	(※2)

## 3. 一般環境大気中アスベスト濃度調査結果

(単位:本/L)

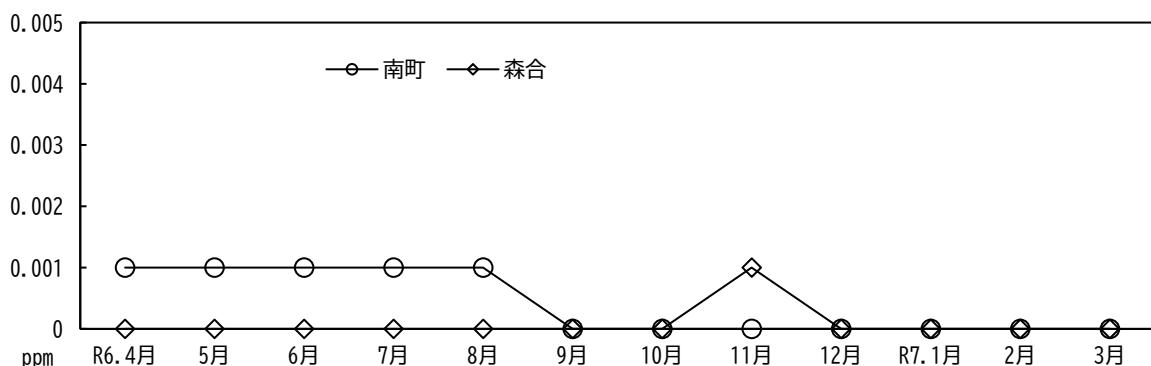
調査地点		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
桜木町	地点①	検出せず	—	—	検出せず	—	—	検出せず	—	—	検出せず	—	—	検出せず
	地点②	検出せず	—	—	検出せず	—	—	検出せず	—	—	検出せず	—	—	検出せず

注 測定結果には、アスベスト以外も含む総繊維数濃度(本/L)を記載。“検出せず”は、検出下限値(0.056本/L)未満を意味する。総繊維数濃度が1本/Lを超えた場合は、顕著なアスベスト飛散が疑われるものとして、電子顕微鏡などにより、アスベストの存在を確認することとされている。(アスベストモニタリングマニュアル、環境省)

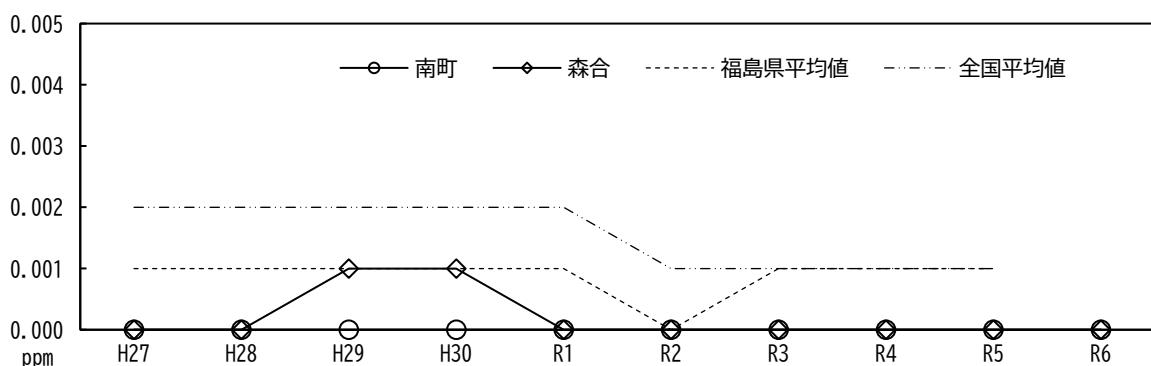
#### 4. 大気汚染状況の推移

##### (1) 二酸化硫黄 ( $\text{SO}_2$ )

○経月変化

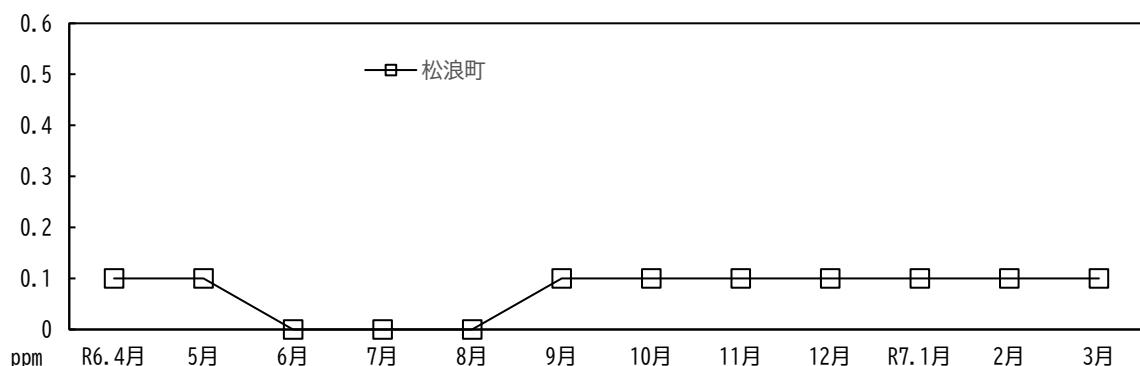


○経年変化

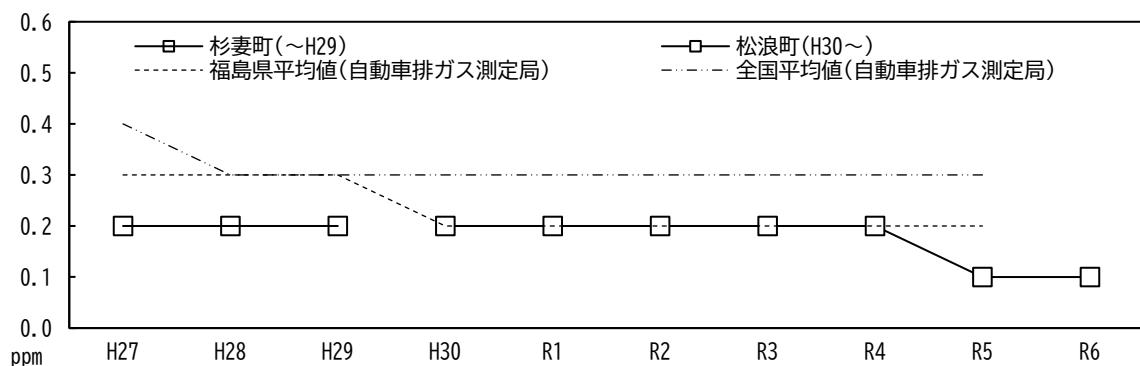


##### (2) 一酸化炭素 (CO)

○経月変化

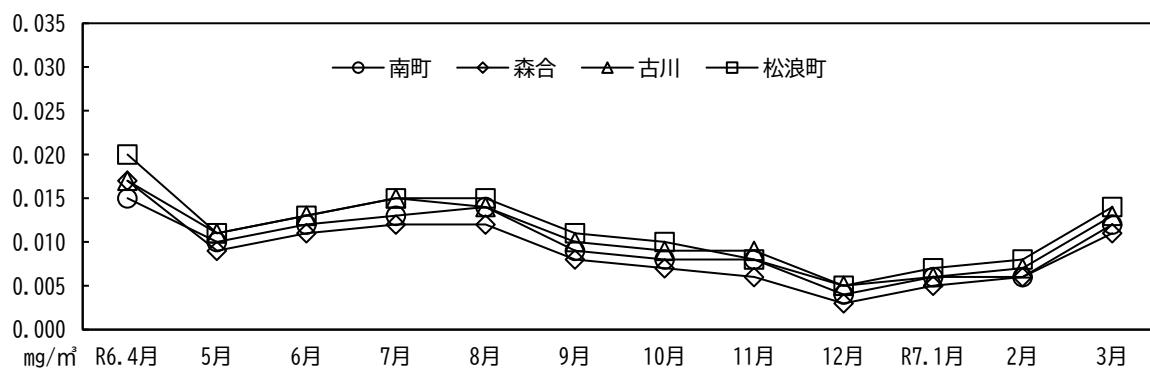


○経年変化

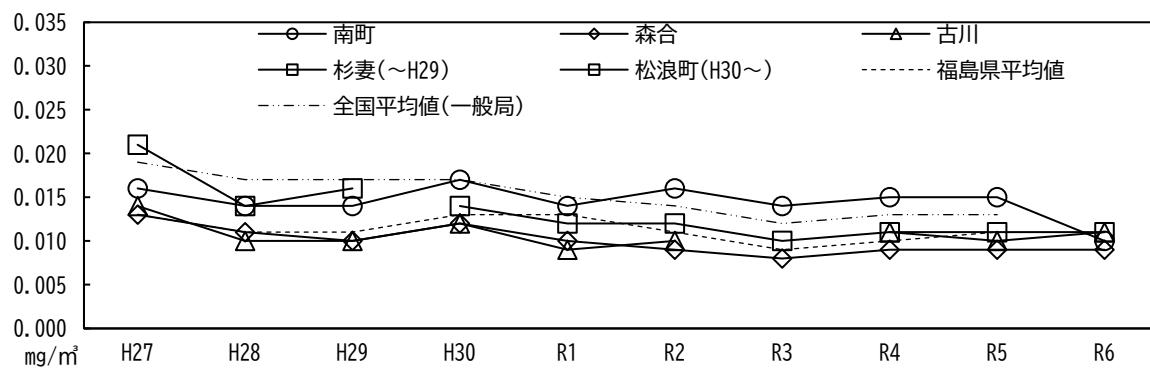


### (3) 浮遊粒子状物質 (SPM)

○経月変化

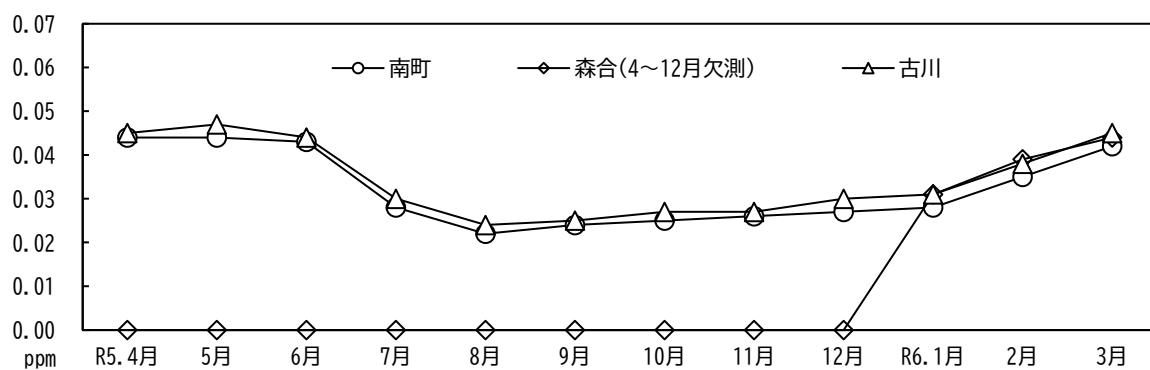


○経年変化

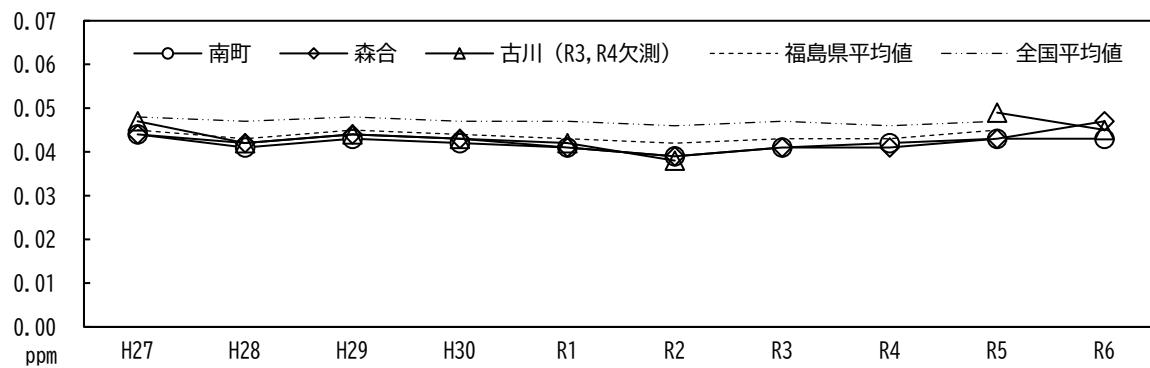


### (4) 光化学オキシダント ( $O_x$ )

○経月変化

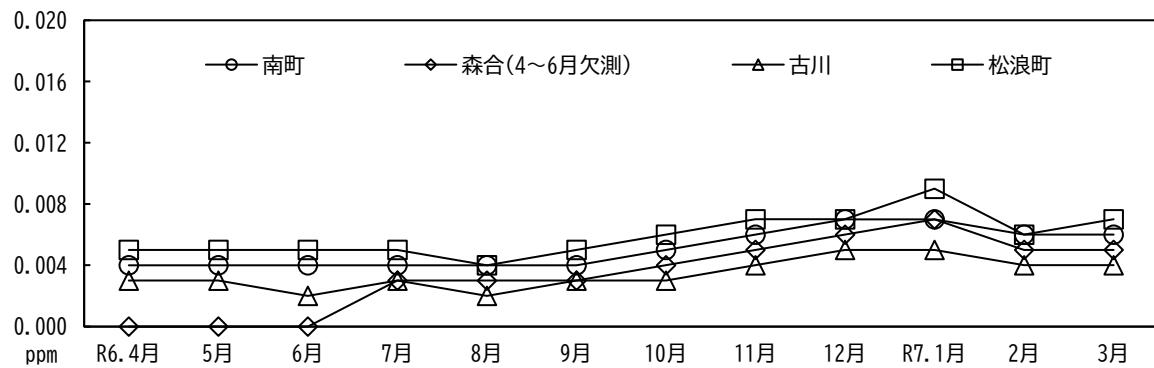


○経年変化

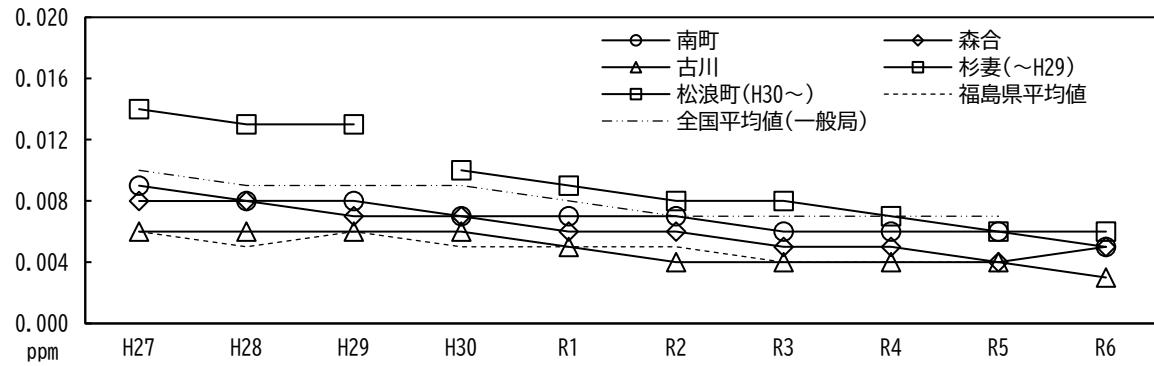


## (5) 二酸化窒素 ( $\text{NO}_2$ )

○経月変化

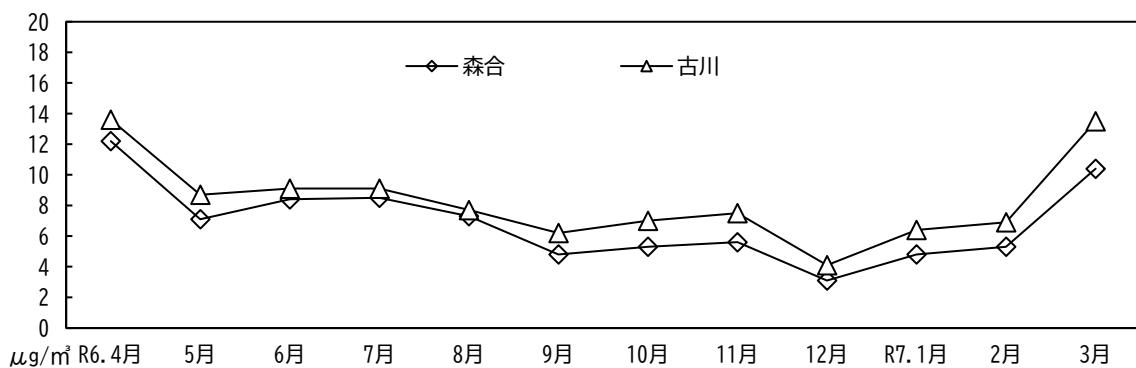


○経年変化

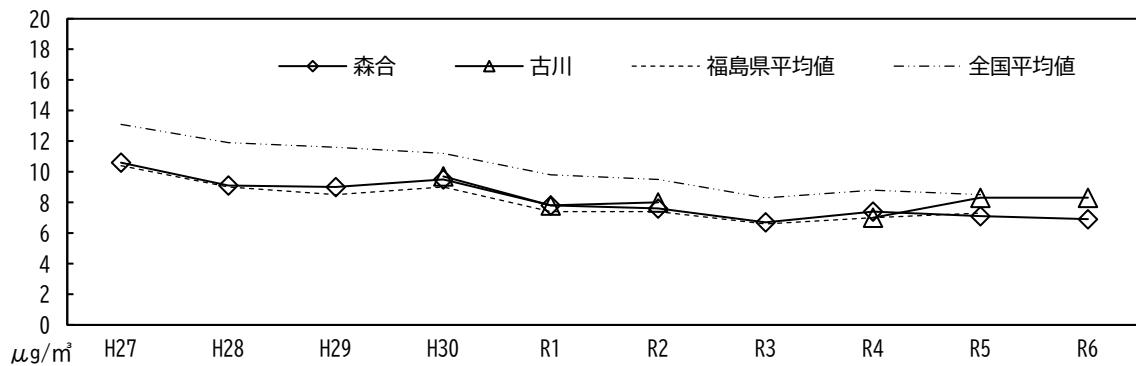


## (6) 微小粒子状物質 (PM2.5)

○経月変化

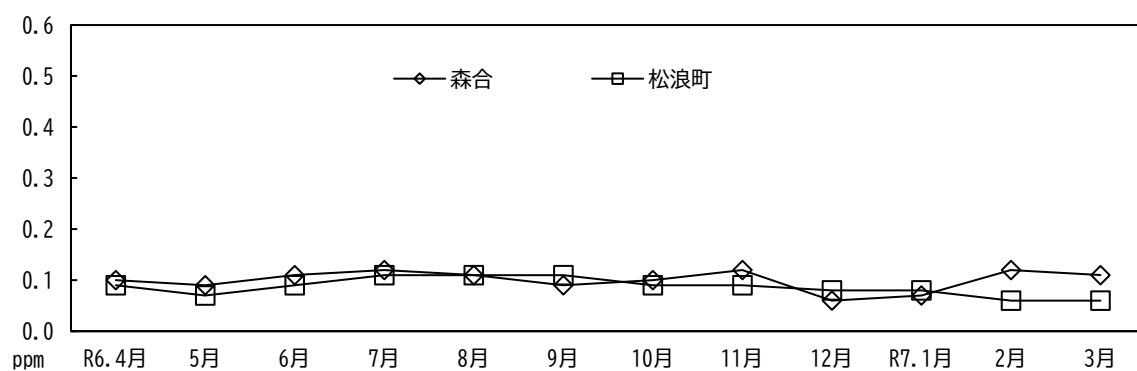


○経年変化

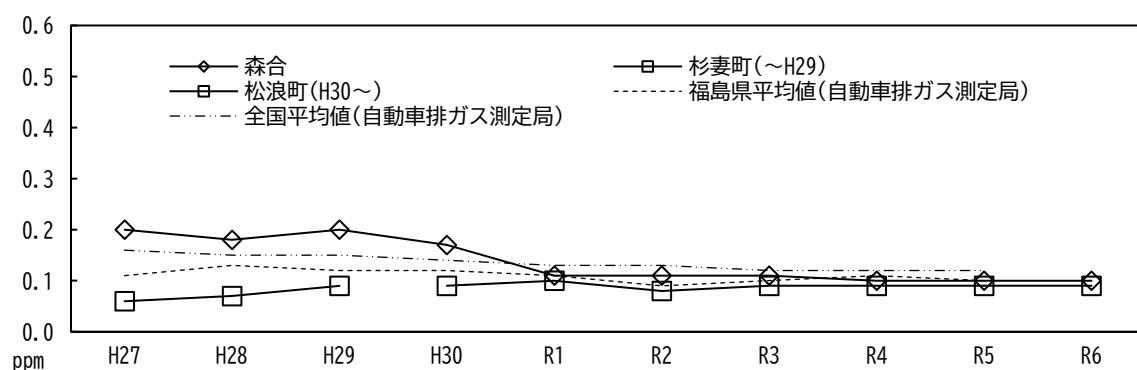


## (7) 非メタン炭化水素 (NMHC)

### ○経月変化



### ○経年変化



## 1. 大気汚染防止法に基づく特定施設

## (1) ばい煙発生施設

項目番号	施設名	施設数
1	ボイラー	395
5	金属の精製又は鋳造の用に供する溶解炉	8
6	金属の鍛造若しくは圧延又は金属若しくは金属製品の熱処理の用に供する加熱炉	5
9	窯業製品の製造の用に供する焼成炉及び溶融炉	9
11	乾燥炉	3
12	製銑、製鋼又は合金鉄若しくはカーバイドの製造の用に供する電気炉	1
13	廃棄物焼却炉	5
14	銅、鉛又は亜鉛の精錬の用に供する焙焼炉、焼結炉、溶鉱炉、転炉、溶解炉及び乾燥炉	1
施設数 計		427
事業所数計		179

(令和7年3月31日現在)

## (2) 揮発性有機化合物排出施設

項目番号	施設名	施設数
1	揮発性有機化合物を溶剤として使用する化学製品の製造の用に供する乾燥施設	1
施設数 計		1
事業所数計		1

(令和7年3月31日現在)

## (3) 粉じん発生施設

項目番号	施設名	施設数
2	鉱物又は土石の堆積場	8
3	ベルトコンベア及びバケットコンベア	59
4	破碎機及び摩碎機	7
5	ふるい	10
施設数 計		84
事業所数計		8

(令和7年3月31日現在)

## 2. 福島県生活環境の保全等に関する条例に基づくばい煙発生施設

項目番号	施設名	施設数
4	廃棄物焼却炉	6
施設数 計		6
事業所数計		4

(令和7年3月31日現在)

## 3. 福島市公害防止対策条例に基づく粉じん発生施設

項目番号	施設名	施設数
7	鉱物、土石又はのこぎりくずの堆積場	7
施設数 計		7
事業所数計		7

(令和7年3月31日現在)